



No.93

市政の窓

「駆け足の一年」

師走を迎えるに当たり、齢からくる感覚もありませんが、月日の経つのが非常に早いと感じるところであります。特に、新年早々に私が立候補した市長選挙と、秋に行われた市議会議員選挙（ともに無投票）がありましたので、なおさら早く感じるのかもしれませんが、駆け足の一年を振り返りますと、絶えず襲来する災害に対応した年ではなかったかと思えます。大阪府北部地震、西日本豪雨（平成30年7月豪雨）、最大震度7の北海道胆振東部地震などの大規模災害、記録的な猛暑や大

きな台風も数多く発生しており、近年は自然災害、大規模地震、異常気象による豪雨・台風などに備えた防災体制の強化を図っていくことが急務となっております。一年の締めくくりであります12月は新議員で構成されます定例会議会にしっかりと対応し、市政発展、市民生活・福祉の向上を念頭に提案した議案の承認をいただけるよう最善の努力をさせていただきます。

でもらえるよう演じていると思っております。そして、私の年内最後の公務が、市役所の仕事納め式の後に行われる匝瑳市消防団の歳末特別警戒の巡視であります。気忙しい年の瀬、酷寒の中、団員の皆様には大変なご苦労をお掛けします。前述したとおり、消防防災体制に年々期待と信頼が高まる中で消防団の皆様には市民の生命・財産を守るため、今年も日夜献身的な活動を行っていただいたことに敬意と感謝の気持ちを含めて巡視させていただきます。また、議会の合同に行われる恒例の市立幼稚園・保育所のお楽しみ会に出席し、子どもたちが一年間心身共に健やかに成長されたこと褒美に、プレゼンターであるサンタクロース役を、園児たちに心から喜んで

匝瑳市長 太田安規

春海を歩く

春海の寺

匝瑳探訪 151

春海地区は、江戸時代、榑湖の干拓により誕生した新田18か村の一つです。先ごろ、千葉島コミュニティセンターのある場所が寺跡のようだが、と



春海の自勤坊跡。奥は千葉島コミュニティセンター

の成立時にはすでに村の共同墓地だったことが知られます。コミュニティセンターの看板に「旧自勤坊」と書かれ、この場所が宗教施設であったことを伝えていきます。徳川幕府は、1631（寛永8）年に新しく寺を建てることを禁止しました。しかし、新田村には「3社5か寺」の建立が1678（延宝6）年に許可されました。春海村にはこのうちの1社・水神社と1寺・修福寺が建てられ、水神社は無量院が管理していました。自勤坊は墓地管理などのため僧が住んだことで、そう呼ばれたのでしよう。江戸時代の春海村には、この他、大通寺、福善寺などが記録に見られますが、明治初年には廃寺となりました。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

問秘書課広報聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

小泉泰清 推薦

腰痛み父の形見の杖を出す
年代感ず下賜なる杖は
庭歩む鳩の番いのむつまじさ
つかずはなれず餌をついばむ
指先のカサカサ感と寒き部屋に
起きずらさ覚え冬支度をす
さしあたり独り勝ちとう顔をみせ
百舌は枯木の天辺に鳴く
香り良きストックやアリッサム シクラメン
配色考え寄せ植え楽しむ
冬の入り我家の恒例障子張り
二十四枚仕上がり安堵す
ほつき草色の変わりを愛でながら
若草色から珊瑚の色に
古谷由美子

犬死にて残りし餌皿は復員の
思ひ出の錨の飯盒の蓋
秋天を仰ぎつつ試歩の道行けば
半円描き小鳥の群過ぐ
姑ありしぬくもりの郷を思い出す
ネパール生れのセラスタ医師を
雨蛙トタンの溝に縮まって
トタン模様は自分を守る
土屋美奈子

伊藤登美枝
大木ヨシ子
伊藤 英子
宇野とし子
鈴木とも子
高橋百合子
渡辺 重雄
石田 秀子
小川みさ子

川口城司 推薦

俳句

高安せい子 推薦

土寄せの土のぬくもり小六月
奥の間に赤き残照冬隣
白きまま秋明菊の更けにけり
久しぶり互いに無事を慰鷄
がまずみや山の御堂の無垢人形
名月や芋栗そろって当たり年
枝重き柿の日毎に色づきぬ
文化祭十八番唄って秋惜しむ
亥が向かって来たぞ大晦日
平成の何故か寂しい除夜の鐘
大晦日最高の年孫誕生
年末のアメ横パワー元気出る
大晦日ふとんの中で除夜の鐘
歳末の売り声今日で幕下す
哀愁の思いつのらす除夜の鐘
大丈夫？この看護士みなメタボ

岩井 やす
椎名 晴江
大川 宣子
最上 峻
椿 和枝
石田 健
野仲 妙子
須貝 玉枝
江波戸京子
鈴木 春子
常世田やす子
岡田けい子
鶴澤 澄子
佐久間美智子
松野 敏昭
石田 津

川口城司 推薦

川柳

勝又康之 推薦

力作募集中

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73・0080 FAX72・1114

図書館だより

図書館ホームページはコチラ
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



●休館日…25日(火)・毎週月曜日 ●年末年始休館日…12月28日(金)～1月4日(金)
☎八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

▶ 年末年始は、読書三昧

12月14日(金)～27日(木)は、一般書、雑誌は何冊でも借りられます(DVD・CDは一人3点まで)。期間は3週間で、いつもより長く貸し出します。この機会を利用して、年末年始の休みに読書はいかかでしょうか。本棚に無くて、書庫に有る場合もありますので、お気軽にカウンターへお尋ねください。

▶ 資料の寄贈について

「年末の大掃除をして、本を処分したいけど、もったいないから図書館に寄贈しよう」一。申し訳ありませんが、図書館では全ての本を受け付けることはできません。受け入れには条件がありますので、お持ちいただく前にお問い合せください。図書館ホームページ「よくある質問」で、受け入れできない資料や条件などを説明していますので、ご参照ください。

●12月のおはなし会
★八日市場図書館
毎週土曜日14時から約30分間
★のさか図書館
23日(日)10時30分から約30分間

おすすめの本

『犬像をたずね歩く あんな犬、こんな犬32話』 青柳健二/著 青弓社

著者は、全国各地の犬像を訪ね歩き、犬と人間の物語をひも解きます。犬像約100体が、カラー写真210点で紹介されています。

『犬と猫の向こう側』 山田あかね/著 扶桑社

ペットブームの中、日本では年間6万匹もの犬や猫が殺処分されています。この悲惨な状況を変えるべく活動する「犬猫みなしご救援隊」代表の中谷百里さんを追うノンフィクションです。著者が監督した映画「犬に名前をつける日」のDVDも、合わせてご覧ください。